山の温泉便り

湯本学区のふるさと交流情報誌

第2号
2017年6月30日
湯本学区ふるさと
交流実行委員会

白糸の滝

表紙写真：記念誌より 白糸の滝

雨に洗われた深い緑が輝く初夏になりました。皆さんお元気でやってますか。冬の縮こまりがちな生活から、ゴールデンウィークを境に、ハウスの中の若苗、柳やブナが眠りから覚めるようにその息吹を見せてくれます。私共人の動きも元気に雪の解けた校庭もにぎやかになる、まさに北国の春です。

5月20日には、湯田小の大運動会がありました。大きなグラウンドに五月晴れの中、元気な親子の姿がありました。その数は私達の時代の半分にも満たないが、その笑顔は昔のままでした。そしてこの時期の楽しみは山の恵みです。私もまずはゼンマイ、そしてワラビと楽しんでおります。また、この時期帰省される方も多く見えます。桜の花を追っての北帰行や西わらびを目当ての人、そして錦秋湖マラソンに来る人など、久しぶりの再会は互いの若返りにも良い薬になっております。

今回はお盆向けの企画も考えてみました。初年度ですのでまずはふるさとを多く紹介して皆さんへの関心度UPと考えております。

第一回目のふるさと便り、皆さんからたくさんのご意見等、嬉しい声を頂きました。何よりのエネルギー源となっておりますので、よろしくお願いいたします。

湯本学区
ふるさと交流実行委員会
会長　高橋　武男

山の温泉便り　第2号　2017年6月30日発行　発行者／湯本学区ふるさと交流実行委員会
事務局　西和賀町ふるさと振興課
岩手県和賀郡西和賀町川尻40-40-71　TEL: 0197-82-2111

湯本学区からのお知らせ

news!

今年これから開催される、地区や町の行事を紹介します。ぜひお越しください！

◆盆踊り

豪華景品GETのチャンス！
屋台もあります。

湯田、湯本
平成29年8月13日(日)　17:30～22:00頃
場所：各地区会場

左草、下前、槻沢、湯之沢
平成29年8月14日(月)　17:30～22:00頃
場所：各地区会場

◆昭和51年生まれの皆様　42歳厄払い

湯田中学校卒業生
平成29年8月13日(日)　場所：一城

（ちなみに…
沢内中学校卒業生
平成29年8月14日(月)　場所：沢内バーデン）

湯本学区周辺のおいしいもの vol.1

結ハウスの人気No.1！ ヨーグルトパフェ

プレミアムヨーグルト（加糖）
＋コーンフレーク
＋フルーツソース（カシス・ラズベリー・ブルーベリーから選べます。）

㈱湯田牛乳公社 結ハウス

住所：西和賀町小繋沢55地割138番地
交通：湯田ＩＣから1km
電話：0197-82-2005
営業：9:00～18:00
定休：無し

団平さんのあいす　桂 -Katsura-

ふわふわアイスの上に練乳、小倉あんと抹茶、
そして上品なわらび餅がアクセントになってます！

雪国のだんご屋 団平

住所：西和賀町大沓36地割26-4
交通：ほっとゆだ駅から1.6km
電話：0197-82-2398
営業：[店舗] 8:00～18:00 [喫茶] 10:00～16:00（12～3月は冬季休業）
定休：木曜日（4～11月）日曜日（12～3月）

ふるさとバスツアーやります

なつかしい校舎を訪ねませんか

お盆で帰省した時に、ふるさとを見てみませんか？
ふるさと交流事業として、みんなでゆっくりおしゃべりしたり、歩いたり、湯本学区をぐるりと回ったりするバスツアーを企画しました。
懐かしい友達に会うもよし、家族のお出かけの機会とするもよし、ぜひ活用ください。
ツアー後には、錦秋湖のビアガーデンイベントへもそのまま参加できます！（希望者のみ）

平成 29 年
8 月 12 日（土）
13:00 ～ 16:00

先着：25 名
集合：湯本公民館

13:00 あいさつセレモニー
13:30 湯本公民館 出発
↓ ＜バス＞
14:00 **湯田小学校 体育館**
↓ ＜バス＞
旧湯本中学校（現西和賀高等学校）
↓ ＜バス＞
住吉神社
↓ ＜バス＞
旧下前分校
↓ ＜バス＞
14:30 ゆう星館到着　お茶会
↓ ＜徒歩＞
15:30 **旧左草小学校**
↓ ＜バス＞
湯之沢（吊り橋）
↓ ＜バス＞
16:00 湯本公民館 到着

中に入れるかも

↑希望者のみ↓
↓ ＜バス＞
錦秋湖川尻総合公園会場
ビアガーデン（～ 19:30）
↓ ＜巡回バス＞
湯本公民館 自由解散

希望者はツアー終了後錦秋湖大滝まつりのビアガーデンへ！飲食代実費です。

※宿泊が必要な方は各自対応ください。
宿泊先のご相談は観光協会まで（0197-81-1135）

締切り：7 月 31 日（月）
申込先：TEL0197－82－3285　FAX0197－82－3111
《西和賀町ふるさと振興課　近藤、真壁　あて》

ごあいさつ

湯本学区全6地区のうち、毎号2地区ずつご挨拶します。

湯本　雪中神輿祭りは冬の風物詩

湯本温泉出身の皆様お元気でお過ごしでしょうか。ほんの少しだけ行事を紹介します。

平成 26 年　雪中神輿祭り

湯本地区では毎年、色々な行事を行っています。春には女性の会によるクリーンアップ作戦、初夏には全世帯参加で句碑公園・町道の草刈り、お盆の13日には青年会を中心に盆踊り大会、9月8日は薬師神社・9日は稲荷神社のお祭り、敬老の日には敬老祝賀会等、古くからの行事にこだわって、大切に継続して行っています。

新たに2月第2日曜日に「雪中神輿祭り」を行って25年になります。神輿の会西湯会（会頭佐々木勉）主催で全国で初めて雪の中で神輿を担ぐという祭で関東以北から毎年100人以上担ぎ手が集まります。寒中の下帯姿は冬の風物詩？になっています。こんな行事に合わせてお帰りになりませんか、待ってま～す。

湯本地区協議会会長
田村　健さん

槻沢　今の槻沢

この頃の槻沢は、田植えも終わり、一回目の草刈りが始まっています。町外からはワラビ園や砂ゆっこに憩いを求めてお客さんが多く賑わってくる季節でもあります。

営農の面でいくと、最近では、田んぼは大規模農家に委託する傾向になっています。

そして六月頃の槻沢は、里の雪は溶けても南の鷲合森の山や北の奥羽山脈にはまだ残雪があり、所々には八重桜もあって、そのコラボが眺めを良くしています。槻沢橋の完成と道路の拡張によって、昔のイメージともだいぶん変わりました。

三十数年前に発足した青年会の「山祇会」は現在も活動して四季折々に飲み会をしていますが、その若かった会員も今では青年からほど遠い50～60歳代になりました。

また、この夏も豪華景品がもらえる盆踊りが催されますので、帰省の際はぜひ皆様ご参加ください。

砂ゆっこ（西和賀町 HP）

槻沢公民館長
藤原　勇雄さん

湯本学区の人

CASE3

藤原（ふじわら）　直樹（なおき）さん【槻沢】

昭和 57 年生まれ 35 歳。出身は茨城県。高校卒業まで地元で過ごし、都内の飲食関係の仕事に就職。30 歳で奥さん江利子さんと知り合う。義祖父、義父の相次ぐ他界で、西和賀に移住を決意。昨年 11 月に長男柊馬（とうま）ちゃんが産まれた。

夫婦の出会い

高校卒業後、都内の飲食店で責任者として働いてた時にお客さんとして来たのが、奥さんである江利子さんだった。その後、交際へと進展していったそう。

義父と義祖父の死

平成26年の春、奥さんのもとに義父が入院すると連絡が入った。そのころ義祖父も肺炎を患い、入退院を繰り返していた。それから月に一度見舞いへ行くこととなり、そこで直樹さんは初めて西和賀を知ることとなった。

義父の入院から僅か数か月後、突如二人の余命宣告を聞くことに…。居てもたってもいられず、休職して二人の元へ向かった。

「それまでの義母の苦労を考えると到底計り知れないです…」と語る。

その年の7月、わずか二週間違いで二人はこの世を去った。直樹さんたちは家を守るため、すぐに移住を決意して仕事を辞めたそう。現在移住して2年目になる。

苦難を乗り越えて

「西和賀での生活は、初めてのものばかりでしたが、家族や周りの人の支えもあり、都会では感じることのなかった四季の素晴らしさを肌で感じてますし、新しい家族と一緒に、賑やかに暮らしていきたいです。」と語ってくれた。

CASE4

高橋（たかはし）　成勇（せいゆう）さん【湯本】

平成 2 年生まれ 26 歳。
平成 18 年に湯田中学校を卒業後、盛岡工業高校に入学。高校を卒業して東京の会社に就職、3 年後に京都に転勤。その後転職を経て、平成 26 年 8 月に湯本に U ターンした。

高校でのラグビーとの出会い

盛岡工業高校に在学中、ラグビーと出会った。ポジションはスクラムハーフ※。県内強豪校だった為、練習はつらかった。でもそのおかげで人として強くなれたという。部活仲間達とは強い絆があり、今も交流を続けているそう。

Uターンのきっかけ

都会暮らしは楽しかったが、長男であること、故郷愛が目覚めたことなどから、帰ると決めた。

今は、祖父の代から続く電気店の三代目として、父と一緒に働いている。

「一日も早く一人前の電気工事士になって、父に楽をさせてあげたいですね。」と語ってくれた。

充実の毎日

趣味はゴルフ。自然が相手なところと、歳を取っても出来るところが好きで、湯田高原カントリーには、足しげく通っている。

地域の役に立ちたいと、消防団にも所属。とても頼りになるアニキたちがいるそう。未熟なので「きのこクラブ」には属していないが、近い将来入るのを楽しみにしているとも教えてくれた。

将来の夢をたずねると、「キレキレのイケイケのお兄さんになること！」と元気いっぱいの答えが返ってきた。

※スクラムハーフ：攻撃のリズムを作る司令塔

アンケート結果と発送状況

湯本の情報誌「山の温泉便り」1 号は、724 通発送して 84 通が未達、合計 640 名の方にお届けすることができました。そのうち 95 名の方にアンケートに回答頂き、温かい応援の言葉や今後の記事へのご提案等を頂くことができました。大変ありがとうございました。ここに一部ご紹介します。
また、この便りをお送りできていない方々がいます、住所情報の収集にご協力ください。

面白かった記事

1 位 学び舎アルバム（41 票）
2 位 湯本学区の人（14 票）
3 位 青年会の演劇、20 年後の湯本
山室橋の雪景色、湯本マップ（5 票）

載っていたらいいなと思う記事

1 位 集落の風景（18 票）
2 位 故郷で頑張っている人達（15 票）
3 位 仕事や空き家情報（8 票）

名簿収集状況

H29.6.26 現在
（卒業年度と住所の集まった人数の集計）

S33…33 人	S50…25 人	H 4…19 人
S34…59 人	S51… 4 人	H 5… 0 人
S35…58 人	S52…16 人	H 6… 0 人
S36…52 人	S53… 0 人	H 7… 0 人
S37…65 人	S54…21 人	H 8…12 人
S38…74 人	S55…25 人	H 9…12 人
S39…53 人	S56… 0 人	H10… 0 人
S40…51 人	S57… 0 人	H11… 0 人
S41…54 人	S58… 0 人	H12… 0 人
S42…20 人	S59…22 人	H13… 0 人
S43…66 人	S60… 0 人	H14… 0 人
S44… 9 人	S61… 0 人	H15…10 人
S45…32 人	S62… 0 人	H16… 0 人
S46…42 人	S63…23 人	H17… 0 人
S47…40 人	H 1… 0 人	H18… 0 人
S48…21 人	H 2…20 人	
S49…36 人	H 3… 0 人	

自由回答

- 通った学校の思い出が浮かび、懐かしい気持ちになれました。今現在の校舎もあわせて紹介したのも良いと思います。
- 自分が生まれ育った左草に「住みたい」と言ってくれる若者がいると、嬉しくなりました。
- 「子供は一人もいなくなる」に強い危機感を抱きました。ふるさとはいつまでもそのままであって欲しいというのは都市生活者の身勝手な願望だと思い知らされました。
- 山室橋の風景は夏休みを思い出しました。泳いで金魚岩にやっとたどり着いた時の感動を今でも覚えています。「山室亭」で食べたイチゴの氷も美味しかったなー、向いの「すず」で飲んだ水も美味しかったなー
- 懐かしく思い出させて頂くことが出来ました。年中行事も色々あり、春の清掃活動では村中、家中大掃除して金紙をもらった事や、部落対抗仮装盆踊りでは各チームの本気合戦に子共ながらすごいと今でも覚えています。
- 交通上の不便さは感じないので四季を通じて訪れた時に利用や体験できるもの、例えば錦秋湖の遊覧船、山菜取り体験、農作物の収穫体験、獲ってゼンマイのオーナー制や加工体験雪馬ぞり乗り、凍み大根づくり、白糸の滝などの観光ツアー、町内温泉巡りなどの企画とそれらの情報発信を検討して欲しい。
- 年々故郷が懐かしくなってきました。「帰りたいと思ったときに帰る事が出来るふるさと」宜しくお願い致します。

湯本学区の風景

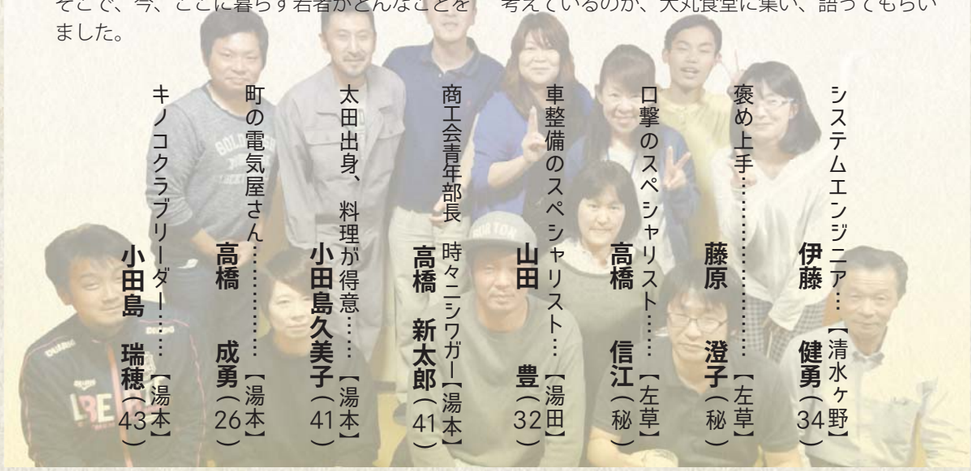
西和賀町撮影
「ぜんまいもみ」

西和賀町撮影　「湯田小学校の田植え」

わかもの座談会

今の若者は、故郷に何を思い、何を成そうとしているのか、その本音に迫る

この情報誌の編集委員は、今のところ協議会長や公民館長などの先輩方が中心となっています。ただ、ふるさと交流を行い、Uターンやーター地域を維持し、安心して、楽しく暮らしていけるふるさとであるためには若者の参画も大切です。そこで、今、ここに暮らす若者がどんなことを考えているのか、大丸食堂に集い、語ってもらいました。



システムエンジニア…【清水ヶ野】
伊藤　健勇（34）

褒め上手……【左草】
藤原　澄子（秘）

口撃のスペシャリスト……【左草】
高橋　信江（秘）

車整備のスペシャリスト…【湯田】
山田　豊（32）

商工会青年部長　時々ニシワガー【湯本】
高橋　新太郎（41）

太田出身、料理が得意……【湯本】
小田島久美子（41）

町の電気屋さん……【湯本】
高橋　成勇（26）

キノコクラブリーダー……【湯本】
小田島　瑞穂（43）

聞き手　ここに暮らす若者たちは、今、どんなことを楽しんでいるのでしょうか？

若　者　5～6年前から、春は山菜、秋はきのこを採りに山に入る『きのこクラブ』で活動しています。きづけとりをする本部隊が5人で活動しています。

聞き手　採ってきた山菜やきのこはどうするんですか？売るんですか？

若　者　採ってきた山菜やきのこを調理してくれる処理班がいて、彼女たちに渡します。処理班が料理をしてくれて、それを食べる『食べる班』がたくさんいます。

聞き手　処理班と食べる班は何人くらいいるんですか？年齢はどのくらいの人が多いのですか？

若　者　処理班は1～2人くらいかな。食べる班は30～40代で、たくさんいます。だいたい土日のいずれかで、誰かの家に集まって子供たちも連れてきてわいわい楽しく飲んだり食べたりしてます。

若　者　うちは子供が一人っ子なんだけど、そこに行くと子供がたくさんいるので、兄弟や仲間みたいにわいわいと遊ぶことができるので、本当に楽しいです。

聞き手　それはすごく楽しそうですね～。きのこクラブには誰でも入れるのですか？

若　者　本部隊には厳しい条件があります（笑）

若　者　朝4時から山に行って、その後仕事に行くようなハードに楽しむ輩じゃないと務まりません。あと、山菜もきのこも結構急斜面などを歩くので危険もあるし、誰でも行けるわけじゃない。

若　者　最近、かっこいいお揃いのヘルメットをつくりました。

聞き手　それはステータスですね。本当に精鋭部隊だ。

若　者　とにかく楽しいことを楽しむ。昨年はメープルシロップを手作りしたよね。

聞き手　日本でメープルシロップって作れるんですか？

若　者　岩手県内で作ったって話を聞いて、「よし、俺らもやってみよう」って。そしたら案外樹液が取れて、200リットルも採取できました。でも、できたシロップは4リットル…。

聞き手　シロップを作るとなると結構煮詰める必要があると思うんですが、どうやって煮詰めたんですか？

若　者　ガスでやったら大変だから、薪を切り出しました。もちろん、みんなで手分けして山から薪を切り出して。山菜を食べたりしながらみんなで順番に鍋をかまして煮詰めました。あれも面白かったよね。

聞き手　子供達も山に一緒に行って、山菜をとったりするんですか？

若　者　普通の山菜取りは危なくて連れて行かないけど、子供達も一緒に行くようなこともあります。

若　者　羨ましい。私の主人は、小さいころから山に行ったりすることがなかったので、山が怖くて今も行かないです。小さい頃からそんな風に山を楽しむことができる環境というのは本当に羨ましいです。

聞き手　他に、みんなでなにか楽しんでいることはありますか？

若　者　湯本の盆踊りを復活させたよね。

若　者　湯田では続いていたから、湯田の青年会に踊りを習いに行ったり。仲間のお父さんが電気屋だから、提灯の設置などは意外とちゃんとできた。

若　者　湯本には今は20代がいないけど、湯田は盆踊りがまだまだ続いているよね。

若　者　湯田は、部落の若者にこだわらずに、青年会で友達に声をかけて手伝ってもらうようになっている。あの時、他の部落も誘うようにして、本当に良かったと思ってる。

若　者　湯田の青年会は、「泊まりでどこかに行く！」というのを目標に、演芸会で劇をしたんだ。

聞き手　どんな劇ですか？

若　者　コマーシャルの三太郎をモチーフにして、自分が台本を書いた。劇の練習は神輿づくりのついでにみんなで練習した。せっかくだから、先輩にあたる郷友会にも声をかけたらのってくれて。郷友会はAKBの踊りをやったな。すごく盛り上がったよ。年寄りを巻き込んで、若い人が盛り上げて…続けてきたことが実を結んだ！って感じた。

若　者　いずれは湯本と湯田が一緒に何かやってもいいんじゃないかって思うけど、年寄り達はやっぱり地区にこだわるだろうな。

若　者　昔は運動会もすごく盛り上がってたよね。特に仮装行列。湯田、湯本、槻沢、湯之沢が合同で運動会を小学校でやってた。

若　者　仮装行列は60回以上続いていたらしいよ。湯田小学校が統合してなくなってしまったけれど。

若　者　運動会は、今も毎年9月23日に行うけど、以前はその種目のために帰ってくる若い人もいたよね。

聞き手　もう一度、やってみたいとかはないんですか？

若　者　先輩達の方が復活させたいって思っているかもしれないね。かといって若い人が何かやろうとしても、先輩達の意見もあるし、どうやろうかと悩むこともある。

若　者　これまでも町が関わって、いろんなことに取組んだりもしたけど、1回目はみんなで取り組んで、盛り上がって「よかった！」ってなるんだけど、それで終わっちゃうこともあって、また何か始めると聞くと、慎重になってしまう。

聞き手　町外に住む同級生に何か一言お願いします。

若　者　「帰ってきたい」って声はよく聞くけど、実際は今すぐにはなかなか難しいこともわかる。「年金もらうようになったら、帰って来い」って感じかな。